※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

2026（R8）年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は暗記科目と思われがちな科目ですが、年号や事件名・歴史上の人物をたくさん覚えることが歴史ではありません。ある事象はなぜ起きたのか、時間的・空間的に関連しているものは何か、どのような対応を選択し、どのような結末を迎えたのか。また他にどのような影響をおよぼし、現代とどのような関わりがあるのか。我々はどう評価するのか。様々なことを資料など通じて考察します。

2　学習の到達目標

a:知識及び技能	b:思考力、判断力、表現力	c:学びに向かう力人間性等
近現代の世界と日本の歴史を構造的に理解し、資料を根拠に説明できる。	歴史的事象を多面的に考察し、根拠をもって自分の見解を表現できる。	歴史を現代の課題と結びつけ、自ら問いを立てて学習に取り組む姿勢を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史的事象や用語を正確に理解し、時代や地域のつながりを把握する力を育てる。 資料・統計・地図など多様な情報を読み取り、必要な情報を整理・活用できる技能を身につける。 近現代史の構造や変化を基礎的知識として確実に定着させ、学習の土台とする。	歴史的事象の因果関係や背景を多角的に考察し、自らの見解を論理的に構築する力を養う。 複数資料の比較検討や、異なる立場・価値観の理解を通して、妥当な判断を行う姿勢を育てる。 考察した内容を文章・口頭・図表など適切な方法で明確に表現し、他者と共有できるようにする。	歴史的な問いを自ら見いだし、学習課題に向けて計画的かつ粘り強く取り組む姿勢を育む。 現代社会の課題と歴史のつながりを意識し、学びを自分事として捉える態度を形成する。 協働的な学習や調査活動を通して、学習内容を深めようとする意欲と責任感を高める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	歴史の扉	歴史の扉	a:生活や地域などに見られる諸事象を基に、それらが世界の歴史とつながっていることを理解している。 b:様々な歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 c:中学における学習の成果を生かし、「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	第１編 近代化と私たち	近代化への問い １ 江戸時代の日本 ２ 幕府の政治改革 ３ アジアの繁栄 ４ 産業革命、独立戦争 ５ フランス革命 ６ アメリカの発展 ７ オスマン帝国 ８ アヘン戦争 ９ 江戸幕府の滅亡	a:17 世紀を含めた 18 世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通，江戸幕府の４つの口や周辺地域との貿易などを基に，18 世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。 b:17 世紀から始まり 18 世紀から 19 世紀にかけての日本が４つの口を通して周辺地域との関係に着目して，主題を設定し，周辺地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀とその前後の日本における経済活動の特徴，清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:様々な資料から情報を読み取ったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味関心を持ったこと、疑問に思ったこと、探究したいことなどを主体的に見出そうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
		10 英仏の繁栄 11 明治政府 12 日本のアジア外交 13 自由民権運動 14 帝国主義の時代へ 15 朝鮮をめぐる国際関係 16 日清戦争後の東アジア 17 日露戦争と東アジア	a:19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策，日本と欧米諸国の外交関係などを基に，19 世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解している。 b:19 世紀後半の欧米諸国の動向が日本に与えた影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の地域の動向	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		18 日本の産業革命	を比較したり,相互に関連付けたりするなどして，19 世紀後半の日本における経済活動の特徴,日本と欧米諸国との関係などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:･巻末ワークを適宜活用し，世界と日本の関わりや,現在との違いについて多面的･多角的に考察し，表現している。			
2学期	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化への問い 19 第1次世界大戦 20 ロシア革命 21 米騒動とデモクラシー 22 ヴェルサイユ体制 23 アジアの民族運動 24 第1次世界大戦後 25 ひろがる社会運動	a:第一次世界大戦の展開,日本やアジアの経済成長,ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭,ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に,総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上,大正デモクラシーと政党政治,大量消費社会と大衆文化,教育の普及とマスメディアの発達などを基に,大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b:･第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響,日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり,関連付けたりするなどして,第一次世界大戦の性格と惨禍,日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的･多角的に考察し，表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し,日本とその他の国や地域の動向を比較したり,関連付けたりするなどして,第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:･巻末ワークを適宜活用し，世界と日本の関わりや,現在との違いについて多面的･多角的に考察し，表現している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
		26 世界恐慌と各国 27 ファシズムの世界 28 満州事変	a:･世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に,国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世			

※令和４年度以降入学生用

		29 日中戦争 30 第2次世界大戦の勃発 31 第2次世界大戦の終結 33 日本占領と憲法 34 朝鮮戦争	界大戦の展開,国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に,第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して,主題を設定し,日本とその他の国や地域の動向を比較したり,相互に関連付けたりするなどして,各国の世界恐慌への対応の特徴,国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響,第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活,日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:・巻末ワークを適宜活用し，世界と日本の関わりや,現在との違いについて多面的･多角的に考察し，表現している。			
３学期	第３編 グローバル化と私たち	35 植民地の独立 36 米ソ両陣営の動揺 37 日本の国際社会復帰 38 石油危機と世界経済 39 緊張緩和 40 日本の経済大国化	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向,軍備拡張や核兵器の管理などを基に,国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に,世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b:地域紛争の背景や影響,冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり,相互に関連付けたりするなどして,地域紛争と	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			冷戦の関係,第三世界の国々の経済政策の特徴,欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的･多角的に考察し，表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響,地域連携の背景と影響,日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり,相互に関連付けたりするなどして,冷戦下の世界経済や地域連携の特徴,経済成長による生活や社会の変容などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源･エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料から,情報を読みとったりまとめたり,複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより,興味･関心をもったこと,疑問に思ったこと,追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。			
		41 地域紛争と対立 42 国際秩序の変容	a:･歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b:事象の背景や原因,結果や影響などに着目して,日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的･多角的に考察，構想し，表現している。 c:･巻末ワークを適宜活用し，世界と日本の関わりや,現在との違いについて多面的･多角的に考察し，表現している。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度